平成３０年３月期

第３四半期決算概要

平成30年2月8日

日本タングステン株式会社

■業績サマリー

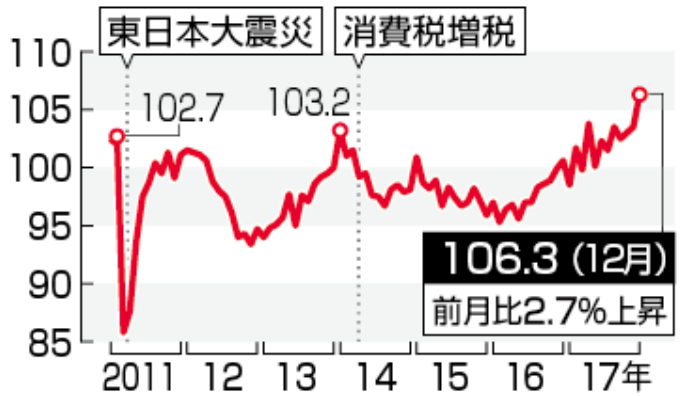
日本タングステン株式会社

■ 経済環境

海外では
・地政学的リスクの高まり等、
　不透明感が続くものの
・全体として緩やかに回復

国内では
・海外経済の回復を背景に輸出が増加
・雇用環境が改善
・緩やかな回復基調で推移

鉱工業生産指数の推移



（2010年=100、季節調整済み。17年12月は速報値）

（出典：時事ドットコム）

■当社グループの業績等

日本タングステン株式会社

●損益の状況

（単位：百万円）

連結業績	平成29年３月期 第３四半期	平成30年３月期 第３四半期	対前年同四半期比 増減額（増減率）
売上高	7,284	8,223	938（12.9%）
営業利益	337	596	258（76.7%）
経常利益	399	812	412（103.3%）
親会社株主に帰属する四半期純利益	274	605	330（120.3%）

≪当第3四半期の概況≫
機械部品事業、電機部品事業ともに前年同四半期を上回るなど総じて好調に推移し、増収・増益

●財務の状況

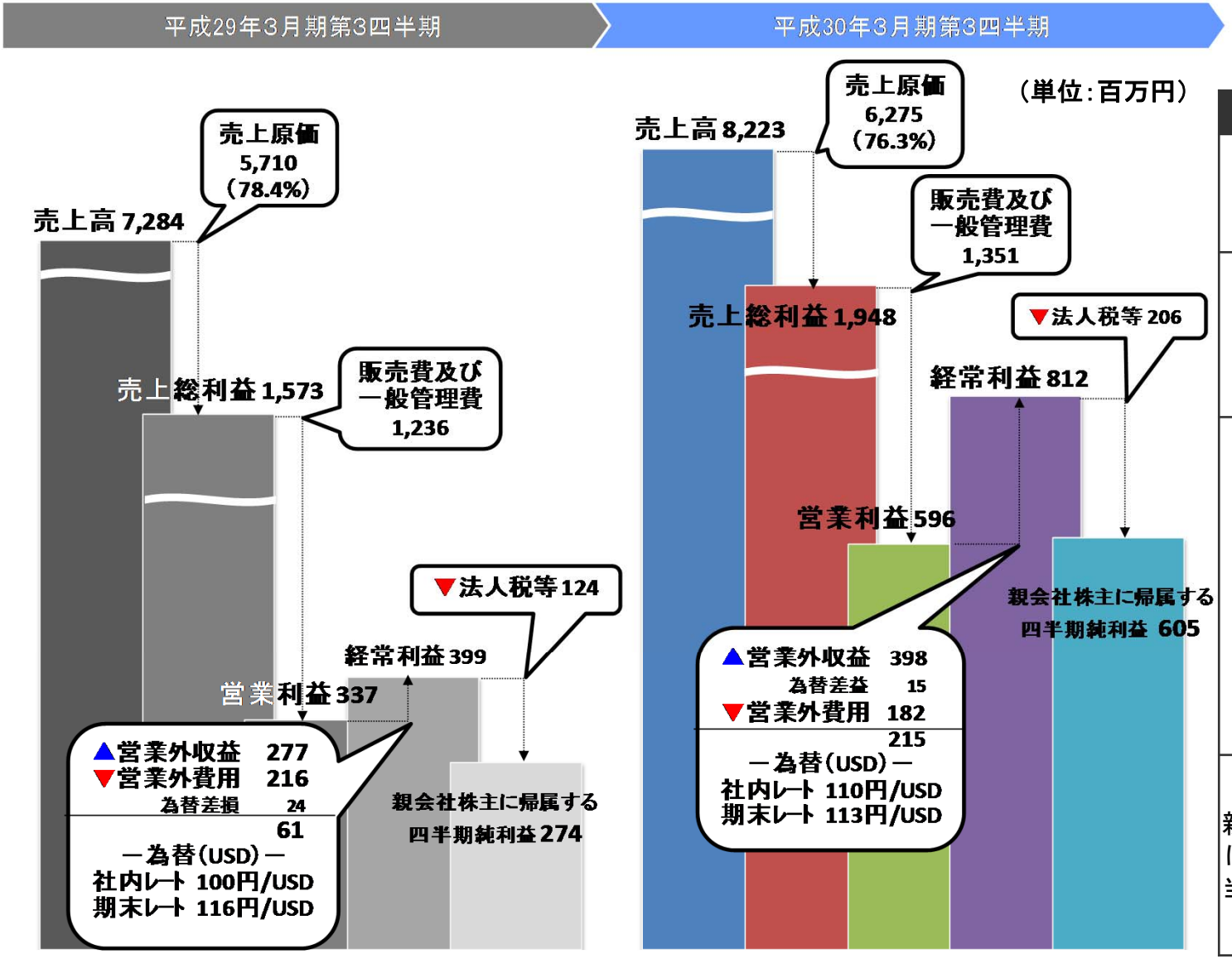
（単位：百万円）

科目	平成29年 3月期期末	平成30年 3月期 第3四半期	前連結会計年度末比増減額
総資産	14，836	15，299	462
負　債	5，858	5，738	△119
純資産	8，978	9，560	582

≪当第3四半期末の概況≫
・総資産：前期末比、462百万円増加
（流動資産は減少、固定資産は増加）
・負　債：前期末比、119百万円減少
（流動負債は増加、固定負債は減少）
・純資産：前期末比、582百万円増加

■損益の概況（連結）

日本タングステン株式会社



項目	要因
売上総利益	連結各社売上高増加により増益
営業利益	単体の販管費が増加するも売上高増加により増益
経常利益	為替差損益の好転、恩悌上海清算終了に伴う為替換算調整勘定の取崩益計上等により営業外損益が大きく改善し、増益
親会社株主に帰属する当期純利益	特別損益なく、税負担率も減少し増益

■事業部別売上高の状況

日本タングステン株式会社

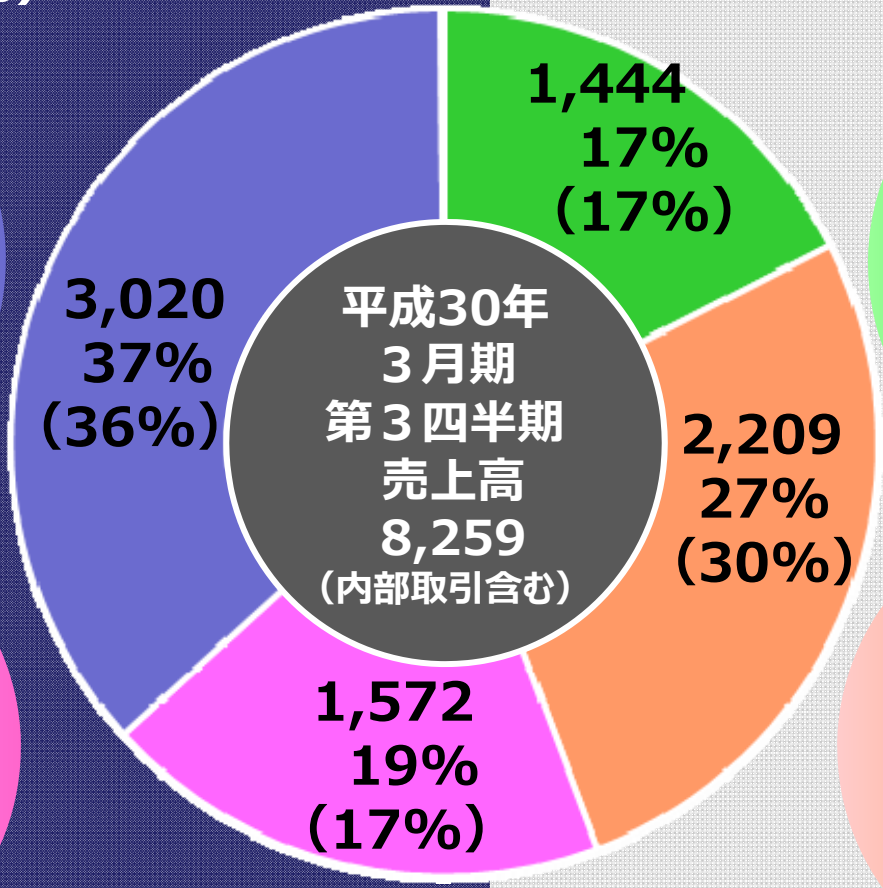
平成30年３月期第３四半期　セグメント別売上高

機械部品事業　4,593　56%（53%）

電機部品事業　3,653　44%（47%）

超硬合金製品

セラミック製品



金属材料製品

電気･電子材料製品

単位：百万円
（　）は前年度の比率

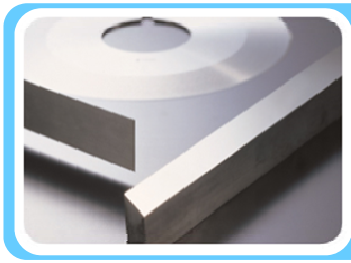
■事業部別主要製品の状況

日本タングステン株式会社

機械部品事業

情報機器関連のハードディスクドライブ（HDD）用磁気ヘッド基板 ▲

下期在庫調整に入るも上期においてHDDの需要回復により増収



電子部品関連の金型製品 ▲

精密金型、液晶用コーターバー等好調に推移

衛生用品関連のNTダイカッター ▼

国内は設備投資の一時的な調整により低調となるも、海外は欧州での拡販活動等により増収

	平成29年3月期第3四半期	平成30年3月期第3四半期	対前年四半期比
売上高 （百万円）	3，866	4，593	726 （18.8%）
営業利益 （百万円）	437	704	267 （61.1%）

※ 売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は全社費用等調整前の金額

■事業部別主要製品の状況

日本タングステン株式会社

電機部品事業

照明関連のタングステンワイヤー製品 ▲

拡販活動により、照明用、自動車球用ワイヤーが増加

電子部品関連の電極製品 ▲

国内、海外ともに好調で増収

自動車関連の接点製品 ▼

EV用接点が海外市場での在庫調整によりが減収

	平成29年3月期第3四半期	平成30年3月期第3四半期	対前年四半期比
売上高 （百万円）	3，450	3，653	202 （5.9%）
営業利益 （百万円）	201	225	24 （12.0%）

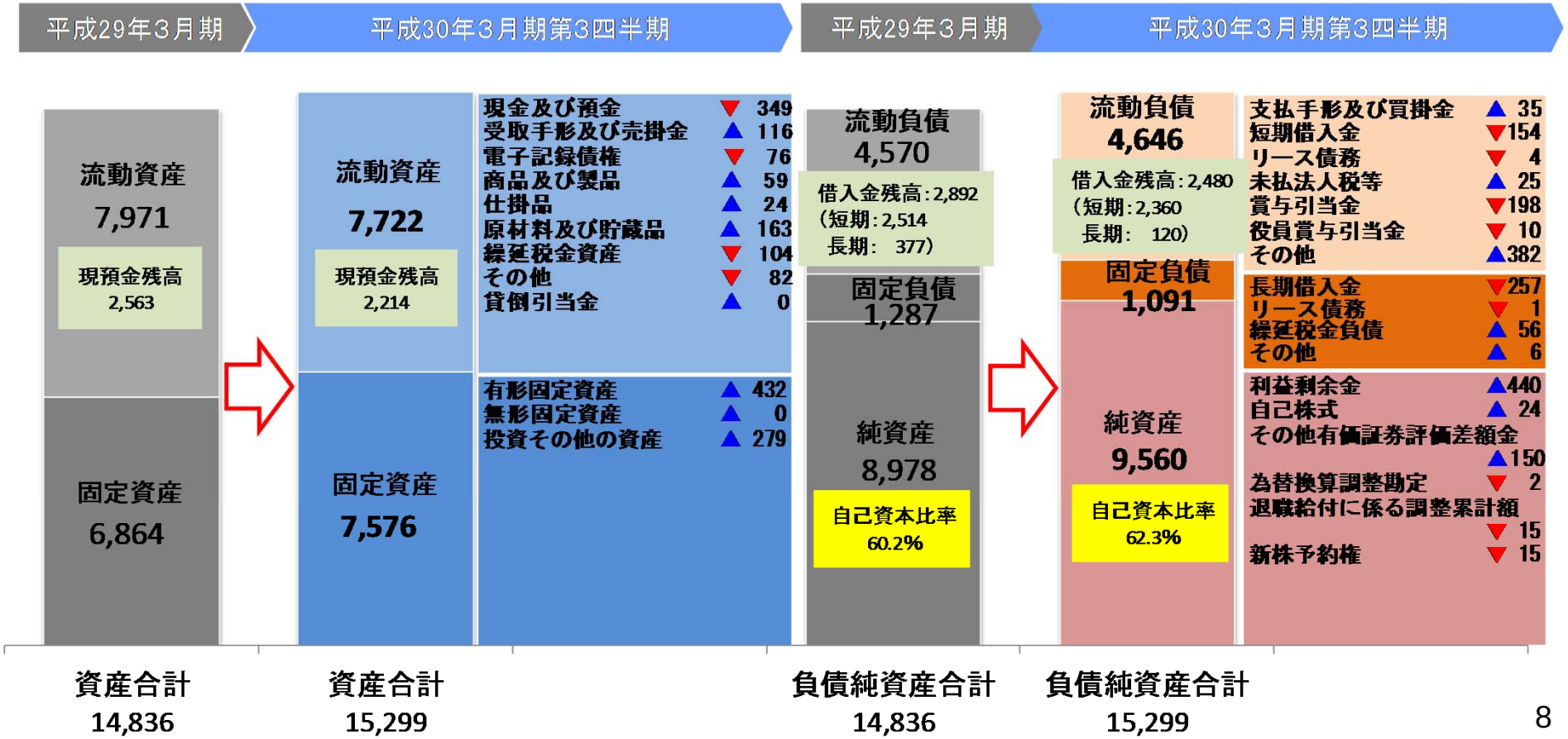
※ 売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は全社費用等調整前の金額

■財務の状況（連結）

日本タングステン株式会社

（単位：百万円）

科目	平成29年 3月期	平成30年3月期 第3四半期	前連結 会計年度末比
総資産	14，836	15，299	462
負　債	5，858	5，738	△119
純資産	8，978	9，560	582



■通期業績予想について

日本タングステン株式会社

平成30年3月期の連結及び個別の通期業績は、衛生用品関連のNTダイカッターが主として海外市場で好調に推移していること及び電子部品関連の電極製品や金型製品が国内、海外ともに堅調であること等により、売上高、損益ともに当初予想を上回る見込み。

1．平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	9,900	570	670	450	187.11
今回修正予想（B）	11,200	740	930	650	269.45
増減額（B－A）	1,300	170	260	200	
増減率（%）	13.1	29.8	38.8	44.4	
(ご参考)前期実績(平成29年３月期)	10,124	473	575	469	195.02

2．平成30年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	9,490	450	610	430	178.79
今回修正予想（B）	10,510	550	740	510	211.42
増減額（B－A）	1,020	100	130	80	
増減率（%）	10.7	22.2	21.3	18.6	
(ご参考)前期実績(平成28年３月期)	9,663	402	599	412	171.55

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施している。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定している。

■ご注意

日本タングステン株式会社

本資料は情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

また、掲載されている情報は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。

従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。当社の内部要因や当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おきください。

投資に関する最終的な決定は、利用者ご自身の判断でなさるようにお願いいたします。